

湯沢砂防だより

国土技術政策総合研究所砂防研究室の方々が 平成23年7月新潟・福島豪雨災害の現地視察に来所

平成23年7月の「新潟・福島豪雨」で大規模な土石流や斜面崩壊が発生した三国川及び登川について、7月10日・11日の2日間に渡り、国土技術政策総合研究所危機管理技術研究センター砂防研究室から研究室長ら4名が現地視察にお越しになりました。

7月10日は、ヘリコプターにより上空から土砂災害の発生箇所を確認し、崩壊の規模や流域の荒廃状況を確認しました。また、地上から芋川流域の現地調査を実施し、芋川流域の復旧状況や小水力発電について確認していました。

7月11日は、地上から三国川土沢・小川地区の土石流災害現場を視察し、今後、土石流災害による被害規模を推定するために必要となる調査について指導を受けました。更に、登川流域では、今後の土砂災害対策の検討に関する方針等について、現地で指導を受けました。



ヘリコプターから崩壊現場の調査をしている様子



土石流災害の対策についての調査状況



土石流の流下状況と応急対策についての確認状況



登川上流域の荒廃調査の状況